

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 27 年度

市町村名	志木市				
提案事業名	志木市に暮らすと自然と健康になれるまちづくり事業				
事業期間	25年度 ~ 25年度				
成果指標	(成果を検証する指標) 平成26年度健康運動教室参加者の体力年齢の若返り(平均5.0歳)				
	(成果検証の具体的な方法) 握力、上体起こしなど、6項目から構成される体力テストの合計得点により評価する。 (筑波大学の研究成果を基にした健康管理システム「e-wellnessシステム」の活用)				
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	(A) B C
	従前値 (年月時点)	目標値 (27年3月時点)	平均Δ5.0歳	実績値 (27年3月時点)	Δ5.2歳
	(施設建設等の場合の実績)				
	年間利用者数 (人)	(目標) 15,600人 (実績) 15,375人	稼働率 (%)	(目標) 98% (実績) 96.90%	
住民への公表状況 及び特記事項		市広報紙、ホームページ等を通じ、市民への公表を行う。			

【事業効果の整理・原因分析】

平成26年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① エクササイズルーム整備事業	○	より多くの市民がいつでも健康づくりに参加できる環境を整備するため、市民体育館の中にエクササイズルームを整備した。
② カフェ・ランチルーム志木四小	○	カフェ・ランチルーム志木四小は、従来行っている学校給食の提供や介護予防事業に加えて、さまざまな世代が交流できる「多世代交流カフェ」として生まれ変わり、世代間交流事業を展開していくコミュニティスペースへと転換を図った。
③ 高齢者いきいき体操教室	○	高齢者を対象に、有資格者の指導による、運動機能の維持・向上を目指した体操教室を行った。
④		
⑤		
⑥		

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	市民の利用率が少なかった市民体育館の相撲場を、エクササイズルームに整備したことで、より多くの市民が健康づくりに参加できる施設に整備することができた。
実施事業について 成果が不十分である点	
成果検証を踏まえた 今後の改善策	年間利用者数が、目標数値に達しなかったことから、引き続き施設の周知を行っていくとともに、新たな事業を展開していく必要がある。